

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3144986号
(U3144986)

(45) 発行日 平成20年9月18日 (2008.9.18)

(24) 登録日 平成20年8月27日 (2008.8.27)

(51) Int.Cl.
B 6 5 D 83/08 (2006.01)

F 1
B 6 5 D 83/08 A

評価書の請求 未請求 請求項の数 9 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号	実願2008-4753 (U2008-4753)	(73) 実用新案権者	508209130
(22) 出願日	平成20年7月10日 (2008.7.10)	池上 孝一	
		高知県高知市新田町 1 5 番 - 5 - 3 0 3 号	
		(74) 代理人	100118245
		弁理士 井上 敬子	
		(72) 考案者	池上 孝一
		高知市新田町 1 5 番 - 5 - 3 0 3 号	

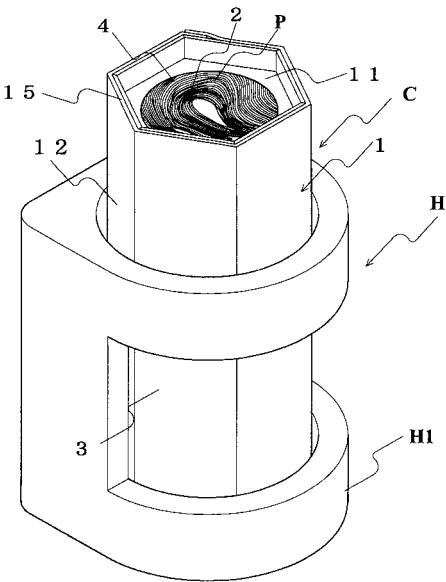
(54) 【考案の名称】 ティッシュケース

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 使用の利便性を向上しながらも、省スペースにて設置可能なティッシュケースCを提供する。

【解決手段】 ティッシュペーパーPを収納するためのティッシュケースCにおいて、前記ティッシュペーパーPを収納するティッシュペーパー収納部2を有するケース本体1と、前記ケース本体1を、車内などに設置されたドリンクホルダHに保持するケース保持部3とを具備する。

【選択図】 図2



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

ティッシュペーパーを収納するためのティッシュケースにおいて、
前記ティッシュペーパーを収納するティッシュペーパー収納部を有するケース本体と、
前記ケース本体を、車内などに設置されたドリンクホルダに保持するケース保持部とを
具備することを特徴とするティッシュケース。

【請求項 2】

前記ケース保持部の内方に前記ティッシュペーパー収納部を構成していることを特徴とする請求項 1 記載のティッシュケース。

【請求項 3】

前記ケース本体の形状を、平面視正多角形としていることを特徴とする請求項 1 又は 2 何れかに記載のティッシュケース。

【請求項 4】

前記ティッシュペーパー収納部に収納する前記ティッシュペーパーを乾性とし、
前記ケース本体を紙で構成していることを特徴とする請求項 1 乃至 3 何れかに記載のティッシュケース。

【請求項 5】

前記ドリンクホルダのドリンク保持部に、前記ケース保持部を嵌合して保持させることを特徴とする請求項 1 乃至 4 何れかに記載のティッシュケース。

【請求項 6】

前記ケース本体を、高さ方向に沿って略等断面形状とし、当該ケース本体の下部を前記ドリンクホルダのドリンク保持部に嵌合して保持させることを特徴とする請求項 5 記載のティッシュケース。

【請求項 7】

前記ティッシュペーパーを、一枚ずつ分離した状態で取り出し可能に収納していることを特徴とする請求項 1 乃至 6 何れかに記載のティッシュケース。

【請求項 8】

前記ケース本体を、縦長の筒状に構成していることを特徴とする請求項 1 乃至 7 何れかに記載のティッシュケース。

【請求項 9】

前記ケース本体の底面部が、ドリンクホルダ部の底面などに接触することを防止する接触防止部を設けていることを特徴とする請求項 1 乃至 8 何れかに記載のティッシュケース。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、車内などで好適に利用可能なティッシュケースに関するものである。

【背景技術】**【0002】**

従来、ティッシュペーパーを収納したティッシュケースは、安定性などを考慮して横長の長形状を有するものが多かった。また、車内などに持ち込む際には、座席の上などにおいて置いていた。

(例えば、特許文献 1 を参照)。

【特許文献 1】特開平 7 - 257667

【考案の開示】**【考案が解決しようとする課題】****【0003】**

しかし、例えば、車内などの狭い空間では当該ティッシュケースは場所を取るため邪魔である。また、座席の上などに置いておくと、走行中に座席下に落下してしまい、使用したいときに見当たらないという不具合があった。一方、当該ティッシュケースを一定の場

10

20

30

40

50

所に固定しておくためには、ティッシュケースの形状に合わせた専用のケースなどを設けなければならなかった。

【課題を解決するための手段】

【0004】

そこで、本考案は、ティッシュペーパーを収納するためのティッシュケースにおいて、前記ティッシュペーパーを収納するティッシュペーパー収納部を有するケース本体と、前記ケース本体を、車内などに設置されたドリンクホルダに保持するケース保持部とを具備することを特徴とする。

【0005】

これにより、車内などにおいても省スペースにて好適にティッシュペーパーを置いておくことができる。更に、ティッシュペーパーケースを定位置に設置することが可能となるため、車の走行中などに所在不明になることがなくなり利便性を向上することができる。

【0006】

更に、前記ケース保持部の内方に前記ティッシュペーパー収納部を構成することにより、全体をコンパクトに設計しながらもティッシュペーパーの収納量を確保することができる。

【0007】

また、前記ケース本体の形状を、平面視正多角形としていることにより、複数のティッシュケースを段ボール箱などの運搬箱に詰めて運搬する際に、各々のティッシュケースの間に無駄なスペースを生ずることなく運搬することが可能となる。

【0008】

更に、簡易に製造するためには、前記ティッシュペーパー収納部に収納する前記ティッシュペーパーを乾性とし、前記ケース本体を紙で構成することが望ましい。

【0009】

加えて、前記ドリンクホルダのドリンク保持部に、前記ケース保持部を嵌合して保持させることにより、簡易な構成にてケース保持部を形成することができる。

【0010】

更に、前記ケース本体を、高さ方向に沿って略等断面形状とし、当該ケース本体の下部を前記ドリンクホルダのドリンク保持部に嵌合して保持させることにより、ドリンク保持部の長短に関わらず、ケース保持部を好適に嵌合することが可能となる。

【0011】

また、運転している際などにもティッシュペーパーを取出ししやすいように、前記ティッシュペーパーを、一枚ずつ分離した状態で取り出し可能に収納することが望ましい。

【0012】

加えて、設置場所を取らず、且つティッシュペーパー収納部を広く確保するためには、前記ケース本体を縦長の筒状に構成することが考えられる。

【0013】

また、前記ケース本体の底面部が、ドリンクホルダ部の底面などに接触することを防止する接触防止部を設けていることで、前記ケース本体の底面部が損傷しティッシュペーパー収納部内のティッシュペーパーが汚れることを防ぐことができる。更に、ケース本体の底面部がドリンク保持部の底面などから浮いているため、ティッシュペーパー収納部内のティッシュペーパーが湿ることを防止することが可能となる。

【考案の効果】

【0014】

車内などにおいても省スペースにて好適にティッシュペーパーを置いておくことができる。更に、ティッシュペーパーケースを定位置に設置することが可能となるため、車の走行中などに所在不明になることがなくなり利便性を向上することができる。

【考案を実施するための最良の形態】

【0015】

本考案に係るティッシュケースCは、例えば、車内などに設置されているドリンクホルダHを利用して、車内にティッシュケースCを好適に設置可能としているものである。

10

20

30

40

50

図 1 は、本実施形態のティッシュケース C をドリンクホルダ H に嵌合する工程を示す斜視図である。図 2 は、本実施形態のティッシュケース C を示す斜視図である。

【 0 0 1 6 】

本実施形態においては、図 1 に示すように、ティッシュペーパー P を収納するためのティッシュケース C において、前記ティッシュペーパー P を収納するティッシュペーパー収納部 2 を有するケース本体 1 と、前記ケース本体 1 を、車内などに設置されたドリンクホルダ H に保持するケース保持部 3 と、前記ティッシュペーパー収納部 2 に収納したティッシュペーパー P を取り出すためのティッシュペーパー取出部 4 とを具備している。

【 0 0 1 7 】

以下、各構成について詳述する。

10

【 0 0 1 8 】

ケース本体 1 は、ボール紙などの紙製の基材 B を折り曲げるなどして形成した縦長の筒状筐体であり、その内方にティッシュペーパー収納部 2 となる収納空間を形成している。本実施形態においては、図 5 に示すように、ケース本体 1 の平面視形状を正六角形とし、高さ方向に沿って等断面形状を成すように構成している。尚、当該ケース本体 1 は、通常のドリンク缶と略同寸の外形寸法（縦、横、高さ、胴回り）を有している。

【 0 0 1 9 】

詳述すると、当該ケース本体 1 は、上方を蓋閉する蓋面部 1 1 と、当該蓋面部 1 1 から垂下する周面部 1 2 と、当該周面部 1 2 の下方を覆う底面部 1 3 とを具備している。更に、本実施形態においては、前記底面部 1 3 や前記蓋面部 1 1 を保護するために、底面接触防止部 1 4 及び蓋面接触防止部 1 5 を具備している。

20

【 0 0 2 0 】

前記底面部 1 3 を保護する底面接触防止部 1 4 は、前記周面部 1 2 を延設して前記底面部 1 3 の周端から垂下させた垂下壁であり、前記底面部 1 3 よりも下方に向って突出している。よって、ケース本体 1 を起立させた際には、前記底面部 1 3 が床面やドリンク保持部 H 1 の底面などに接触することを防止した状態で、当該底面接触防止部 1 4 にてケース本体 1 を支持する。尚、当該底面接触防止部 1 4 の下端を水平に揃えているため、当該ケース本体 1 を安定して自立可能としている。

前記蓋面部 1 1 を保護する蓋面接触防止部 1 5 は、前記周面部 1 2 を延設して前記蓋面部 1 1 の周端から起立させた起立壁であり、前記蓋面部 1 1 よりも上方に向って突出している。よって、ケース本体 1 の上に物が衝突した際には、当該蓋面接触防止部 1 5 にて蓋面部 1 1 への接触を防止して保護する。

30

【 0 0 2 1 】

ティッシュペーパー収納部 2 は、図 2 に示すように、その内部に乾性のティッシュペーパー P を一枚ずつ分離した状態で取り出し可能に収納している。本実施形態においては、一枚ずつ折り畳んだ複数枚のティッシュペーパー P を重合して詰めている。当該ティッシュペーパー収納部 2 は、前記ケース本体 1 の蓋面部 1 1 の下面から底面部 1 3 の上面まで、前記ケース本体 1 の高さ寸法と略等しい高さに形成しており、ケース本体 1 の内部空間を有効利用している。

【 0 0 2 2 】

40

ケース保持部 3 は、前記ケース本体 1 の下方に形成した嵌合部であり、前記ドリンクホルダ H のドリンク保持部 H 1 に、当該ケース保持部 3 を嵌合してケース本体 1 を保持する。具体的には、ドリンクホルダ H のドリンク保持部 H 1 の内形寸法と略同寸の外形寸法（胴回り寸法）を有するケース本体 1 の下部を、ドリンクホルダ H のドリンク保持部 H 1 に着脱可能に嵌合して保持する。また、当該ケース保持部 3 の内方は空洞であるため、当該ケース保持部 3 の内方にも前記ティッシュペーパー収納部 2 を形成している。

【 0 0 2 3 】

ティッシュペーパー取出部 4 は、前記ケース本体 1 の蓋面部 1 1 に開口した平面視円形の開口部であり、前記ティッシュペーパー収納部 2 からティッシュペーパー P を一枚ずつ上方に向って取り出し可能としている。

50

【 0 0 2 4 】

本実施形態においては、ティッシュペーパー取出部 4 を形成する箇所の前記蓋面部 1 1 に対して切取線 4 1 , 4 2 を入れておき、蓋面部 1 1 の一部を取り除いて当該ティッシュペーパー取出部 4 を形成可能としている。これにより、ティッシュペーパー P を使用するまでは当該ティッシュペーパー取出部 4 を閉塞しておき、ティッシュペーパー収納部 2 内に埃や湿気などが混入することを防いでいる。具体的には、前記蓋面部 1 1 の中央部に位置する円形のティッシュペーパー取出部用切取線 4 1 と、当該ティッシュペーパー取出部用切取線 4 1 に沿ってティッシュペーパー取出部 4 を開口する際に利用する補助口を開口するための補助口用切取線 4 2 とを設けている。尚、当該補助口は、ティッシュペーパー取出部 4 の内側に開口するように設けている。ティッシュペーパー取出部 4 を開口する際には、まず、補助口用切取線 4 2 に沿って補助口を開口した後、当該補助口からティッシュペーパー取出部用切取線 4 1 に沿ってティッシュペーパー取出部 4 を開口する。

10

【 0 0 2 5 】

次に、当該ティッシュケース C の製造方法について説明する。

【 0 0 2 6 】

まず、図 8 乃至図 1 0 に示すように、紙製の原反から前記蓋面部 1 1 を形成する蓋面基材 B 1 、前記周面部 1 2 を形成する周面基材 B 2 、前記底面部 1 3 を形成する底面基材 B 3 を切り出す。蓋面基材 B 1 と底面基材 B 3 は、同様の外形を有しており、その周囲には周面部 1 2 に沿って折曲して接着する糊代 B 3 1 を形成するための切り込みを設ける。尚、蓋面基材 B 1 には、前記切取線 4 1 , 4 2 を入れておく。

20

【 0 0 2 7 】

前記周面基材 B 2 を正六角形に折り込み、側端を重合して接着した後、底面基材 B 3 の糊代 B 3 1 を下方に向って直角に折り込み、前記周面基材 B 2 の下端に接着して底面を閉塞する。ここで、糊代 B 3 1 となった底面基材 B 3 と周面基材 B 2 との重合部が、前記底面接触防止部 1 4 を形成することとなる。

【 0 0 2 8 】

ティッシュペーパー収納部 2 にティッシュペーパー P を収納した後、前記底面基材 B 3 と同様に、蓋面基材 B 1 の糊代 B 1 1 を上方に向って直角に折り込み、周面基材 B 2 の上端に接着して天面を閉塞する。ここで、糊代 B 1 1 となった蓋面基材 B 1 と周面基材 B 2 との重合部が、前記蓋面接触防止部 1 5 を形成することとなる。

30

【 0 0 2 9 】

以上のように、ティッシュペーパー P を収納するためのティッシュケース C を、前記ティッシュペーパー P を収納するティッシュペーパー収納部 2 を有するケース本体 1 と、前記ケース本体 1 を、車内などに設置されたドリンクホルダ H に保持するケース保持部 3 とを具備する構成とすることにより、車内などにおいても省スペースにて好適にティッシュペーパー P を置いておくことができる。更に、ティッシュケース C を定位置に設置することが可能となるため、車の走行中などに所在不明になることがなくなり利便性を向上することができる。

【 0 0 3 0 】

更に、前記ケース保持部 3 の内方に前記ティッシュペーパー収納部 2 を構成することにより、全体をコンパクトに設計しながらもティッシュペーパー P の収納量を確保することができる。

40

【 0 0 3 1 】

また、前記ケース本体 1 の形状を、平面視正多角形としていることにより、図 1 2 に示すように、複数個のティッシュケース C を段ボール箱などの運搬箱に詰めて運搬する際に、各々のティッシュケース C の間に無駄なスペースを生ずることなく運搬することが可能となる。

【 0 0 3 2 】

更に、前記ティッシュペーパー収納部 2 に収納する前記ティッシュペーパー P を乾性とし、前記ケース本体 1 を紙で構成していることで、簡易に製造することが可能となる。

50

【 0 0 3 3 】

加えて、前記ドリンクホルダHのドリンク保持部H 1に、前記ケース保持部3を嵌合して保持させることにより、簡易な構成にてケース保持部3を形成することができる。

【 0 0 3 4 】

更に、前記ケース本体1を、高さ方向に沿って略等断面形状とし、当該ケース本体1の下部を前記ドリンクホルダHのドリンク保持部H 1に嵌合して保持させること、ドリンク保持部H 1の長短に関わらず、ケース保持部3を好適に嵌合することが可能となる。

【 0 0 3 5 】

また、前記ティッシュペーパーPを、一枚ずつ分離した状態で取り出し可能に収納することで、運転している際などにもティッシュペーパーPを取出しやすい。

10

【 0 0 3 6 】

加えて、前記ケース本体1を縦長の筒状に構成することにより、設置場所を取らず、且つティッシュペーパー収納部2を広く確保することができる。

【 0 0 3 7 】

また、前記ケース本体1の底面部1 3が、ドリンク保持部H 1の底面などに接触することを防止する接触防止部を設けていることで、前記ケース本体1の底面部1 3が損傷しティッシュペーパー収納部2内のティッシュペーパーPが汚れることを防ぐことができる。更に、底面部1 3がドリンク保持部H 1の底面などから浮いているため、ティッシュペーパー収納部2内のティッシュペーパーPが湿ることを防止することが可能となる。

【 0 0 3 8 】

20

なお、本考案は、以上に詳述した実施形態に限られるものではない。

【 0 0 3 9 】

例えば、本実施形態においては、平面視正六角形となる平面視正多角形の形状としているが他の形状でもよい。具体的には、図1 3乃至図1 6に示すように、平面視正円の円筒形状とすることも考えられる。平面視形状以外は、前記実施形態と同じ構成を有している。尚、前記実施形態と同じ構成については、同じ符号を付している。

【 0 0 4 0 】

更に、材質も紙に限定されずプラスチックなどの素材を利用してもよい。

【 0 0 4 1 】

また、本実施形態においては、ティッシュペーパー収納部2とケース保持部3とを等断面形状としているが、ケース保持部3よりもティッシュペーパー収納部2を大なるものとして、収納量を増すことも考えられる。

30

【 0 0 4 2 】

加えて、本実施形態においては、使用時においてティッシュペーパー取出部4を開口した状態としているが、開閉式の蓋などを設けてもよい。

【 0 0 4 3 】

更に、ケース本体1にドリンクホルダHに引っ掛けるフックなどを取り付けてケース保持部3を構成してもよい。

【 0 0 4 4 】

その他、各部の具体的構成についても上記実施形態に限られるものではなく、本考案の趣旨を逸脱しない範囲で種々変形が可能である。

40

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 4 5 】

【 図 1 】 本考案の実施形態に係るティッシュケースCをドリンクホルダHに嵌合する工程を示す斜視図。

【 図 2 】 同実施形態にティッシュケースCをドリンクホルダHに保持させた状態を示す斜視図。

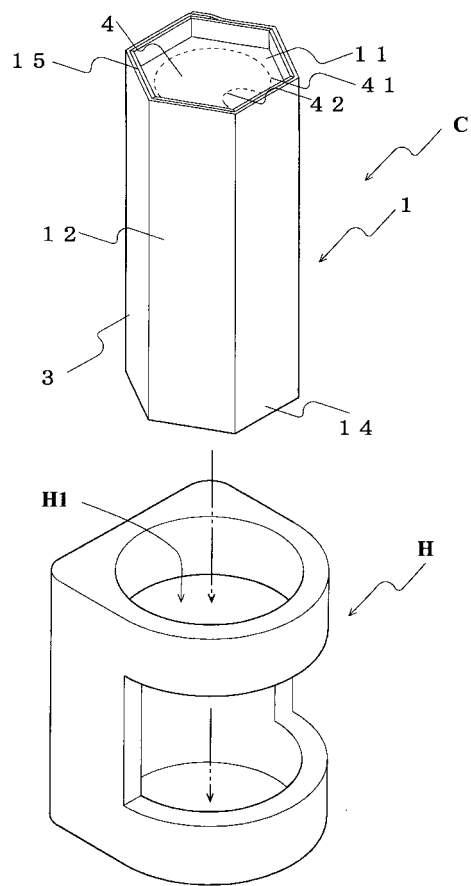
【 図 3 】 同実施形態に係るティッシュケースCの斜視図。

【 図 4 】 同実施形態に係るティッシュケースCを底面部1 3側から見た状態を示す斜視図。

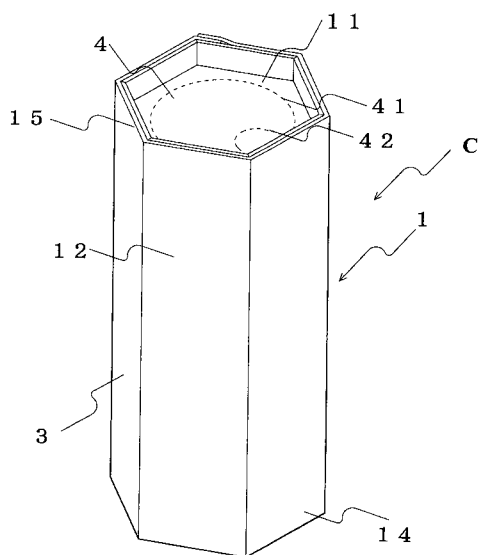
50

- 【図 5】同実施形態に係るティッシュケース C を示す平面図。
- 【図 6】同実施形態に係るティッシュケース C を示す底面図。
- 【図 7】同実施形態に係るティッシュケース C を示す側面図。
- 【図 8】同実施形態に係るティッシュケース C の側面基材 B 2。
- 【図 9】同実施形態に係るティッシュケース C の蓋面基材 B 1。
- 【図 10】同実施形態に係るティッシュケース C の底面基材 B 3。
- 【図 11】同実施形態にティッシュケース C をドリンクホルダ H に保持させた状態を示す平面図。
- 【図 12】同実施形態に係るティッシュケース C を段ボール B に詰めた状態示す平面図。
- 【図 13】他の実施形態に係るティッシュケース C 1 をドリンクホルダ H に嵌合する工程を示す斜視図。 10
- 【図 14】他の実施形態に係るティッシュケース C 1 の斜視図。
- 【図 15】他の実施形態にティッシュケース C 1 をドリンクホルダ H に保持させた状態を示す平面図。
- 【図 16】他の実施形態に係るティッシュケース C 1 の蓋面基材 B 1。
- 【符号の説明】
- 【0046】
- C・・・ティッシュケース
- C 1・・・ティッシュケース
- H・・・ドリンクホルダ 20
- P・・・ティッシュペーパー
- H 1・・・ドリンク保持部
- 1・・・ケース本体
- 2・・・ティッシュペーパー収納部
- 3・・・ケース保持部
- 1 3・・・底面部
- 4 1・・・接触防止部（底面接触防止部）

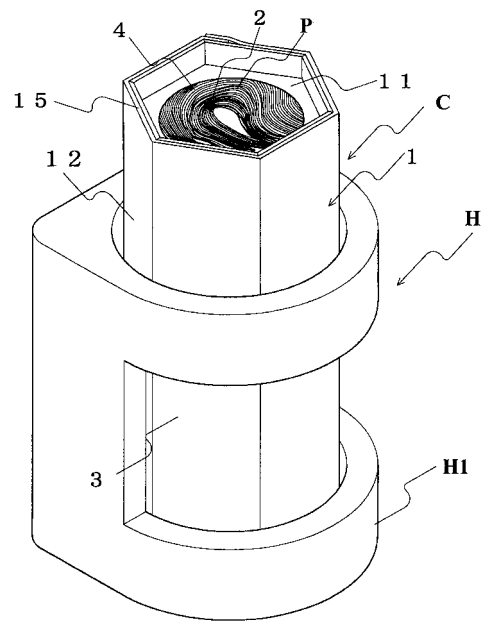
【図 1】



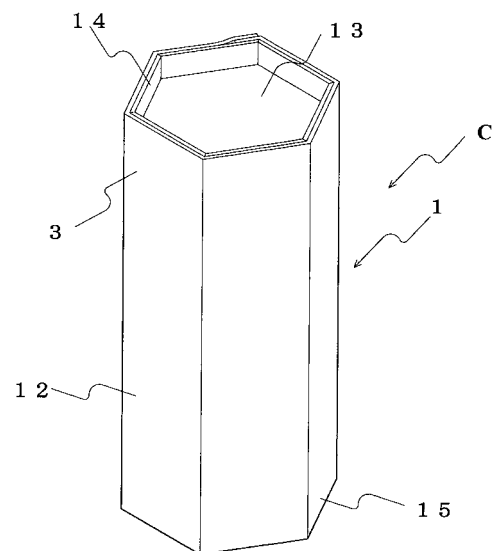
【図 3】



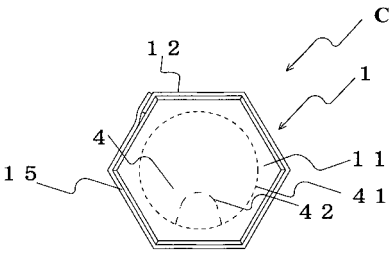
【図 2】



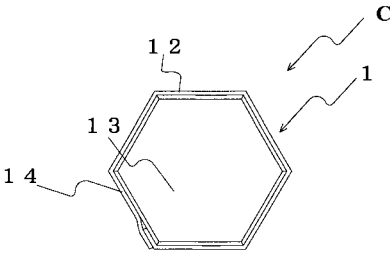
【図 4】



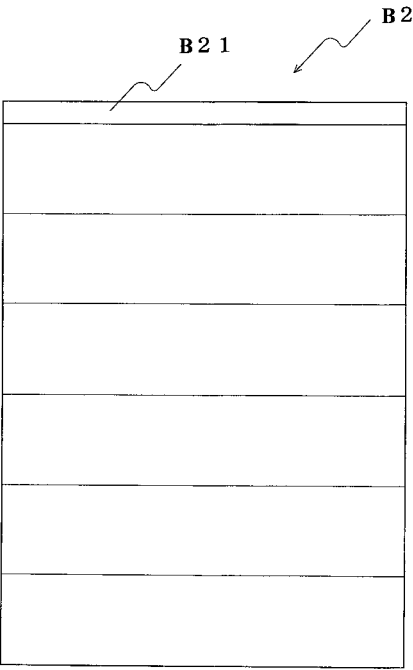
【図 5】



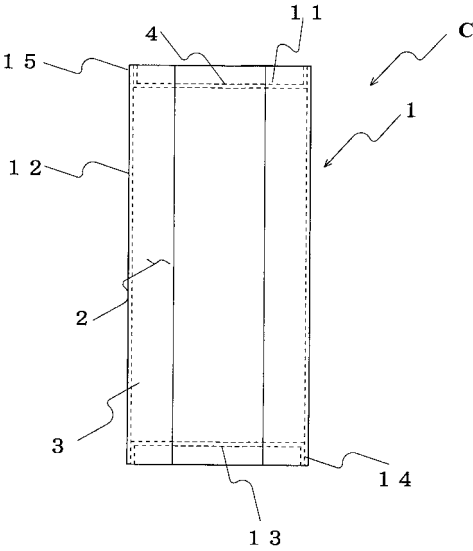
【図 6】



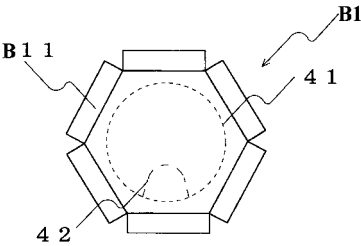
【図 8】



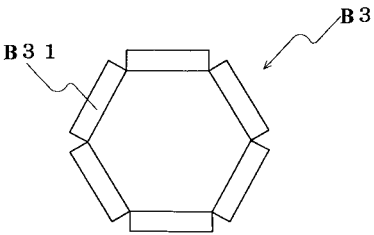
【図 7】



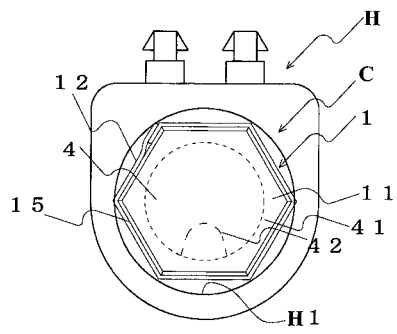
【図 9】



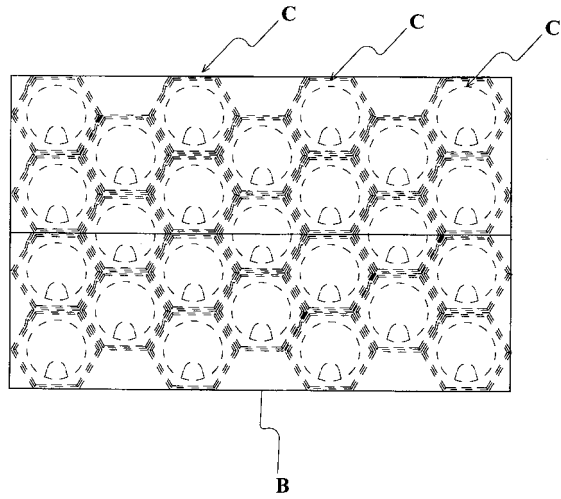
【図 10】



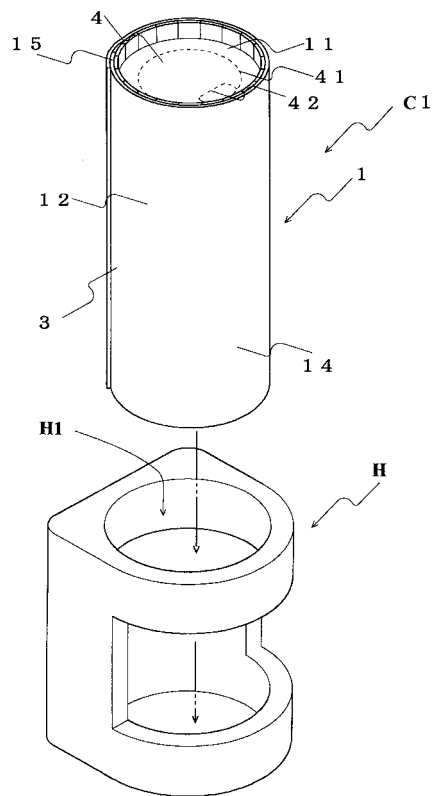
【図 1 1】



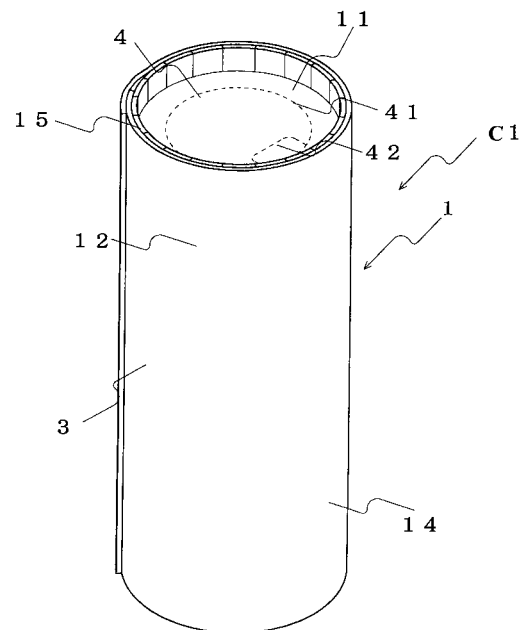
【図 1 2】



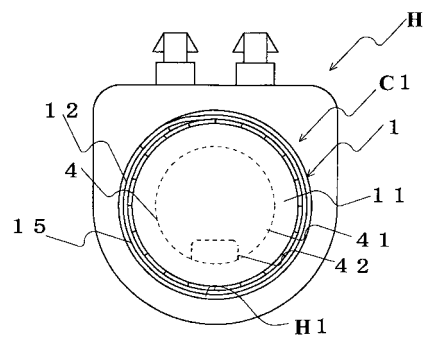
【図 1 3】



【図 1 4】



【図 15】



【図 16】

